

職場体験感想文コンクール2024

タイトル	学び多き職場体験	事務局	401
学校名	酒田市立第四中学校	氏名	石垣絢菜

進級し、二学年になり約半年が経ったころ、中学校に入ってから初めての職場体験がありました。中学1年生のころは輝きタイムという庄内探訪がありました。それとは打って変わって職場体験では「働く」ということを身をもって経験し、それをこれからの人生に活かしていくというものでした。

わたしは職場体験で「シュープラザ」さんというチェーン店の靴屋さんに体験しに行きました。シュープラザさんに体験しに店に入ったとき、みなさん笑顔で迎え入れてくださったことがとても印象的でした。店長さんが私達の案内をしてくださり、まだまだ未熟な中学生を受け入れるようなお店の優しさを感じました。

職場を体験しに伺い、店員さんも店長さんもみなさん私達に優しく、わかりやすく教えてくださりとても感謝しかありませんでした。色々な体験を行い「働く」ということを経験し、学習しました。働くことは責任を持つことは大事だし、ひとつひとつ念入りに、丁寧に行うことが大切であるということを経験しました。靴を陳列したり、検品という靴がしっかり段ボールにその数入っているのか確かめるという作業を行ったり、新しくタグを作ってつけるという作業と一緒にシュープラザさんに行った私達みんなバラバラに行いました。シュープラザさんでの作業はとても楽しく、大人の方がよく言うような仕事へのやりがいをととても感じました。靴屋さんでもたくさんの作業があり、とても少人数ではやりきれないような量があり、日頃おこなっている店員さんや店長さんを尊敬しました。

業務を行うにあたってシュープラザのみなさんに教えてもらったことがあって、1つ目が挨拶、挨拶はお客さんに「また行こう!」と思っただけたり、お客さんの信頼を得たり、お店の雰囲気が良くなったりなどの良いことが起こるのだと経験しました。挨拶はこの接客業においてとても大事なことで教えてもらいました。シュープラザさんはお客様の声を聞き、最善を尽くしてサービスを提供しているようで、お客様を思い、働いているところがとても素晴らしいとわたしはそのとき思いました。

職業体験を行って、わたしは学習したことが多々あり、接客時の言葉遣いや、他の場所でも言葉遣いに気をつけるということを経験しました。いつどこで誰が接客時の言葉遣いを見ているかわからないし、もし言葉遣いが悪い時にお客さんに見られたりしたら信用が減るなどの悪いことが起こる可能性があるということを経験しました。言葉遣いに気をつけるのはこのような中学生の時期でとても大切なことだと思います。

職業体験を通して、わたしはたくさんの大切なことを学び、職業を体験することはとても有意義で、価値のあることだとシュープラザさんで経験しました。言葉遣いや姿勢、挨拶の大切さ、礼儀の徹底などが接客業というもので大切であって、とても大事なことだと学びました。職場体験のなかで得た学びを学校生活や、高校入試の推薦の面接、目上の人への礼儀や作法などのたくさんの場に活かし、自分の身をもって学んだことを忘れないようにしながら過ごしていきたいと思いました。